

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会
児童自立援助ホーム そらまめ

代表者・役職名 氏名 理事・ホーム長 藤川 栄治

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

児童自立援助ホーム「そらまめ」2階台所の床改修及びダイニングテーブル、チェア、食器棚の買い替えによる住環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

施設を退所後、自立しても離職してホームレスとなっている子ども達の支援として、安心して生活できる場としての自立援助ホームの開設を、大阪府より当法人アフターケア事業部に切望され、平成17年(2005年)に自立援助ホーム「ホームそらまめ」を、また同年大阪市からの強い要請により、「ホームそらまめ mitejima」を、平成21年(2009年)に自立援助ホーム「そらまめ なでしこ」を開設した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームでは、子どもたちが気持ちよく生活をして、楽しく食事をする事ができる環境を整える事は、心身ともに健康を維持する上でとても重要であると考えます。しかし、台所、ダイニングの老朽化がかなり進んでおり、早急に改善するべき状態なので、子ども達が安全に過ごせ、心身ともに健康で、就労自立を目指す日々の生活を継続する上でも、改修する必要があります。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

台所の床については、毎日の掃除では補いきれない長年の使用による汚れや、剥がれていたりフローリングの悪化によるシミも、たくさん目立つようになってきたので、新しいフローリングの改修工事をさせていただきたく、またダイニングテーブル、チェアについてはホーム開所した18年前に賃貸契約した大家さんがそれまで使用していたものを、そのまま譲り受けたもので、安定が悪く、落ちついて食事がとれにくいために新しく購入し、食器棚も同様に譲り受けたので、長年の使用に伴い引き出しが開けにくく、引き戸も傷んでいることから一新し、台所周辺環境を改善したいと考えている。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

この度の台所床改修工事、ダイニングテーブル等の買い替えにより、子ども達の食事環境が大幅に改善され、安全に楽しく食事をする事ができています。食事後にはテーブルをきれいに拭いたり、いすの引き方や食器棚の扉の開閉が丁寧になる等、「物を大切にする」ことへの学びにもなり、それは今後の一人暮らしをしてから生活に大いに役立つことと思われる。この度、食事環境を整えることができたことは、子ども達の心身の安定と学業・就労意欲の向上につながっているため、子ども達が元気で過ごせていることが施設全体の大きな活力になっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

この度、食環境を改修工事等で新しくきれいにする事ができたので、食事中の子どもたちの笑顔も増え、ダイニングで過ごす時間が今までよりずっと長くなりました。きれいに大切に使う意識も上がり、今後も長く大切に使い続けていけるように指導していきます。

「物を大切にする」ことを身に付けることは、ホームを退所してからの自立生活においても大いに役立つことなので、ホームで生活している今から身に付くように、子ども達に教えていきます。

これからも住環境、特に食事場所を第一に考え、子ども達が安心して生活できるホーム作りを心掛けるとともに、子ども達の自立支援に職員一同、努めてまいります。ご支援いただきありがとうございました。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

